

栃木県立栃木農業高等学校 出張授業

～現在の建設業を知っていただくために～

“地域インフラ” Ver.3.0
サポートプラン関東

栃木農業高等学校では、UAVや3次元CADの操作を授業に取り入れ、次世代の建設業で活躍できる技術の習得を進めています。生徒の皆さんが今後の進路を選択するうえでのお手伝いとして、現在の建設業が行っている取組や3次元測量成果の活用方法などを説明する出張授業を行わせていただきました。

◎出張授業概要

実施日時：令和3年6月10日(木) 11:00～12:15

実施場所：栃木県立栃木農業高等学校

対象生徒：環境デザイン科2年生 37名(うち女子4名)

教員 2名

実施内容

- ・下館河川事務所 伊讚出張所長から始まりの挨拶(リモート)
- ・「R2鬼怒川伊讚管内河道整備工事」での取組
- ・学校内で実施した3次元測量成果の活用方法
- ・学校と現場をリモートツールで結んでの疑似体験
- ・遠隔臨場装置(スマートグラス)装着体験

◎出張授業アンケート結果

- ・機械も発展していてとても便利そうだった。
- ・やりがいの感じられる仕事だと思った。
- ・ICTによって仕事がやりやすくなっていると感じた。
- ・実際の現場で行われていることを一度見たいと思った。
- ・メガネ(スマートグラス)が重くてかけた時に大変だった。(実際の現場ではヘルメットに装着して使用するためです。普通に使用するとバッテリー部が重い。素直な感想です。)
- ・コロナウイルス流行の中で遠隔など様々な方法があると感じた。
- ・工事現場の古いイメージを改めることができた。
- ・建設業は休みが無いと思っていたので、週休2日があることに驚いた。



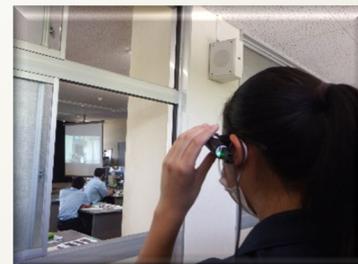
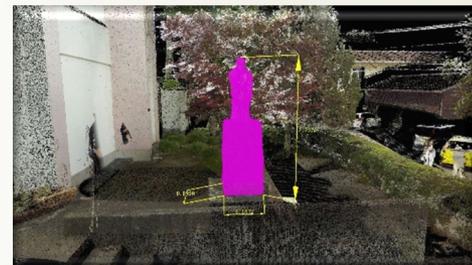
伊讚出張所長から皆さんへの挨拶



ICT・担い手育成など現場での取組を説明



今回測量したデータ・過去に測量したデータを合わせて学校を作り教材としました。
学校にある銅像の寸法・体積は？



遠隔臨場に使用するスマートグラスを実際に体験

下館河川事務所と「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます

R2鬼怒川伊讚管内河道整備工事

潮田建設の「担い手育成・確保の為の取組」は、<http://www.usioda.co.jp/intro/civil/>からご覧ください

発注者 下館河川事務所
受注者 潮田建設株式会社
協力業者 株式会社TP測量設計